

聖心女子大学キリスト教文化研究所

教養ゼミナール

2023年度 開講講座一覧

特別講座（オンライン+実演）

コード	講座名	担当者	開講方式	学期	回数	受講料
S2300	宗教音楽・典礼音楽の世界 I	片野耕喜 加藤拓未 藤原一弘	録画配信 実演	後期	2回	5,000円

(I-A) 通常講座（対面）

コード	講座名	担当者	開講方式	学期	回数	受講料
A2301	マニフィカトの歴史	金澤正剛	対面授業	通年	6回	6,000円
A2302	樋口一葉を読む	松野志保	対面授業	前期	4回	4,000円
A2303	『源氏物語』『宇治十帖』を読む	原岡文子	対面授業	通年	12回	12,000円

(I-B) 通常講座（オンライン同時配信）

B2311	ヘブライ語テキスト講読（中級）	荒川博行	同時配信	前期	10回	10,000円
B2312	ヘブライ語初級（続）	荒川博行	同時配信	前期	10回	10,000円
B2313	文学と人生	鈴木秀子	同時配信	通年	6回	6,000円

(II) キリスト教学・宗教学シリーズ（オンライン録画配信）

コード	講座名	担当者	開講方式	学期	回数	受講料
C2314	描かれたキリストと聖母 —キリスト教美術の精髓—	高野禎子	録画配信	通年	8回	8,000円
C2315	キリスト教中世美の世界 —ロマネスク美術への視線—	安發和彰	録画配信	後期	4回	4,000円
C2316	キリスト教修道霊性の展開と教育	桑原直己	録画配信	通年	8回	8,000円
C2317	現代宗教学： 人間性の危機と宗教の役割	市川 裕	録画配信	通年	12回	12,000円
C2318	「宗教のすゝめ」 ～キリスト教からの問いかけ～	加藤和哉	録画配信	通年	6回	6,000円

(III) 自由ゼミナール（対面・オンライン）

コード	講座名	担当者	開講方式	学期	回数	受講料
F231	シェイクスピア講読	道家弘一郎	同時配信	通年	12回	無料
F232	アウグスティヌス『三位一体論』を学ぶ	加藤信朗	対面	通年	7回	無料
F233	キリスト教入門（カテキズム）	山崎渾子	同時配信	通年	8回	無料

特別講座

本年、大学創立 75 周年を迎えるに当たり、キリスト教文化研究所では、本学の聖堂〔通称「おみどう」〕の意義と価値を再確認し、学内外に発信する「おみどうプロジェクト」を立ち上げ、その一つとして、特別講座「宗教音楽・典礼音楽の世界」を開設することとなりました。

キリスト教の礼拝において聖歌・讃美歌や音楽は神の賛美のための重要な手段であり、また教会音楽・宗教音楽は、多くの音楽家・作曲家にとって芸術的インスピレーションの重要な源となってきました。本講座は、宗教音楽、典礼音楽の専門家による講義と合わせて、本学聖堂における実演をご鑑賞いただくことで、宗教音楽・典礼音楽の世界を深く味わっていただくものです。（なお、講座はオンラインで録画配信されます。実演についても、当日お越しになれない方のためには録画配信を予定しております。）

本年は「クリスマスと教会音楽」をテーマとして、テノール歌手で、教会音楽合唱の指導者の片野耕喜先生、NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役でも知られる加藤拓未先生、そして音楽学者で古楽アンサンブルの主宰者である藤原一弘先生に授業をお願いし、またサン=サーンスの「クリスマス・オラトリオ」他の実演をお聞きいただきます。

【S2300】宗教音楽・典礼音楽の世界 I 「クリスマスと教会音楽」	録画配信 実演	5,000 円
2 回配信予定		
片野耕喜（山梨大学教授） 加藤拓未（明治学院大学キリスト教研究所研究員） 藤原一弘（青山学院大学講師）		
キリスト誕生までの四週間（待降節）とクリスマスは音楽の世界でもとても重要な題材で、多くの作曲家が美しい声楽曲を残しています。日本ではクリスマスにはヘンデルの「メサイヤ」がよく演奏されますが、ヨーロッパではその他にも多くの楽曲が演奏されます。この講座では聖書をテキストとしたこの時節のヨーロッパの教会音楽を取り上げます。また受講者の皆さんは、本学聖堂で行われるサン=サーンスの〈クリスマスオラトリオ〉他の実演（12月3日）を無料でご鑑賞いただくことができます。		

実演：「クリスマス・オラトリオとキャロルの集い」

日時：2023年12月3日（日）午後

場所：本学聖堂

プログラム：第1部 本学聖歌隊によるクリスマス・キャロル

第2部 サン=サーンス「クリスマス・オラトリオ」ほか

出演：本学聖歌隊・甲府コレギウム・アウレウム（KoCoA）

片野耕喜（指揮・テノール）、山下牧子（メゾ・ソプラノ）ほか

講座には定員はございませんが、実演は定員を先着 300 名とさせていただきますので、お早めのお申し込みをお勧めします。

(I - A) 通常講座 (対面)

【A2301】 マニフィカトの歴史	対面授業	6,000 円
火曜 13:30-15:10 通年 6 回 : 5/9, 6/13, 7/11, 10/10, 11/14, 12/12		
国際基督教大学名誉教授 金澤 正剛		
聖務日課の晩課で歌われる聖母マリアのカンティクム《マニフィカト》の歴史を辿る。ローマ聖歌の節付けで実際に歌ってみた上で、歴史上代表的なマニフィカトを鑑賞する。		
使用テキスト : 毎回必要なテキストを配布する。		

【A2302】 樋口一葉を読む	対面授業	4,000 円
火曜 13:30-15:10 前期 4 回 : 4/25, 5/23, 6/20, 7/18		
元本学非常勤講師・日本文学研究者 松野 志保		
樋口一葉が〈世間並みの女の幸福〉を願っていたなら、〈その二十四年の生涯は悲惨としかいいようがない〉が、彼女は〈自分の意志で芸術家の道を選んだのである〉と瀬戸内寂聴は書いています。昨年生誕百五十年を迎えた一葉が生きた時代と生涯をたどり、今や古典となりつつある代表作を丁寧に読んでいきます。		
使用テキスト : 『樋口一葉小説集』(ちくま文庫)をご用意くだされば、より理解が深まります。		

【A2303】『源氏物語』「宇治十帖」を読む	対面授業	12,000 円
火曜 15:20-17:00 通年 12 回 : 5/9, 5/23, 6/6, 6/20, 7/4, 7/18, 10/3, 10/17, 11/7, 11/21, 12/5, 12/19		
本学名誉教授 原岡 文子		
光源氏の子孫世代の物語「宇治十帖」を、橋姫より読み始め、昨年度は最後の女主人公浮舟がいよいよ死を選び取ろうとする浮舟の巻最終部を少し残す所まで読了。今年度はまず息詰まる事態の結末を刻む巻末を読み、引き続いてがらりと場面が転換され、浮舟「失踪」を受けての、薫、匂宮、そして母中将の君等の動静が語られる蜻蛉の巻を読み進めることとなります。各回トピックを設定しつつ、浮舟の行方、残された人々の思いの交錯をご一緒に読み深めてまいりましょう		
使用テキスト : 玉上琢彌 訳注『源氏物語』第十巻(浮舟~夢浮橋)角川ソフィア文庫(昨年度使用テキストと同じ。今年度よりご参加の方は開始前にご購入ください。)		

(I - B) 通常講座 (オンライン)

【B2311】ヘブライ語テキスト講読 (中級)	同時配信	10,000 円
木曜 13:30-15:10 前期 10 回 : 5/11, 5/18, 6/1, 6/8, 6/15, 6/22, 6/29, 7/6, 7/13, 7/20		
カトリック東京大司教区司祭 荒川 博行		
テキスト講読は、士師記の原文を読みます。文法の復習、辞書の使い方を学びます。		
Biblia Hebraica Stuttgartensia, JUDICES., Willam Holladay, "Concise Hebrew And Aramaic Lexicon Of The Old Testament", Eedermans, 1971.		

【B2312】ヘブライ語初級 (続)	同時配信	10,000 円
木曜 15:20-17:00 前期 10 回 : 5/11, 5/18, 6/1, 6/8, 6/15, 6/22, 6/29, 7/6, 7/13, 7/20		
カトリック東京大司教区司祭 荒川 博行		
聖書ヘブライ語初級(続)は、山田恵子『ニューエクスプレス+古典ヘブライ語』白水社, 2019. の L5 から始めます。アルファベット、発音、母音記号、シェバー、ダゲシュなどの知識を前提にクラスを進めます。		
山田恵子『ニューエクスプレス+古典ヘブライ語』白水社, 2019.		

【B2313】文学と人生	同時配信	6,000 円
木曜 10:30-12:10 通年 6 回 : 5/18, 6/15, 7/20, 10/19, 11/16, 12/21		
元本学教授 鈴木 秀子		
文学に凝結している人間の知恵を学び、それを私たちの日常にいかにかに活かすべきかを、キリスト教精神に基づいて、皆で一緒に考えていきたいと思ひます。		
使用テキスト : 毎回配布資料を用意します。		

(Ⅱ) キリスト教学・宗教学シリーズ

【C2314】描かれたキリストと聖母 —キリスト教美術の精髓—	録画配信	8,000 円
水曜配信 通年 8 回：5/17, 6/7, 6/28, 7/19, 10/18, 11/15, 12/13, 1/17		
元清泉女子大学教授 高野 禎子		
教科書を用いてイエス・キリストの生涯を、絵画や彫刻作品を通して丁寧にひもときます。毎回パワーポイントで詳細な図版を用意します。聖書の該当箇所を確認しながら、キリスト教美術の本質とは何か、ゆっくり考えてみたいと思います。主に中世〜ルネサンスの作例を中心にみてゆくことが、時に馴染みのない写本なども登場します。名文の誉れ高い教科書ですので、内容は良く理解できるはずです。		
使用テキスト： 柳宗玄著『キリスト —美術にみる生涯—』、八坂書房、2012 年 (第一回の授業時に、この本の紹介と購入方法についてお話しします。前もって購入されたい方はその旨、研究所宛てにご連絡ください。)		

【C2315】キリスト教中世美の世界 —ロマネスク美術への視線—	録画配信	4,000 円
金曜配信 後期 4 回：9/29, 10/27, 11/24, 12/29		
美術史家 安發 和彰		
12 世紀に開花したスペインのロマネスク美術は、南フランスや北イタリア等からの新傾向を取り入れながら、独自の力強い表現に深く敬虔な精神を宿していました。本講座では、聖堂建築に関わる彫刻、板絵、写本挿絵について、その造形的特徴を部分に着目し、【1】永遠の眼差し(頭部、目)、【2】祈りの形 1 (手)、【3】祈りの形 2 (身体)、【4】位階の表現(画像の構成)の順に、歴史的経緯も含めて解説してゆきます。		
使用テキスト：毎回パワーポイントを用います。毎回参考資料を配布します。		

【C2316】キリスト教修道霊性の展開と教育	録画配信	8,000 円
火曜配信 通年 8 回：5/30, 6/13, 6/27, 7/11, 10/17, 10/31, 11/14, 11/28		
筑波大学名誉教授 桑原 直己		
キリスト教世界における修道霊性の意味およびその歴史的展開について理解を深めることを目的とする。具体的には、初期修道制の成立から中世盛期における托鉢修道会、さらには中世後期から近代を経て現代にいたるまでの修道霊性史の展開を跡づける。近代以降については、女子修道霊性の展開をも視野に入れた上で、特に教育事業と結びついた修道霊性の展開を中心に考察する。		
使用テキスト： 特になし		

【C2317】現代宗教学：人間性の危機と宗教の役割	録画配信	12,000円
金曜配信 通年12回：5/12, 5/26, 6/9, 6/23, 7/7, 7/21, 10/6, 10/20, 11/3, 11/17, 12/1, 12/15		
東京大学名誉教授 市川 裕		
<p>人類の宗教を振り返るとき、最も大きな変化が生じたのが近代であった。世俗化である。それまでの人類は、宗教を生活の基盤とする社会を形成したが、宗教は近代化と共に影響力を減じた。宗教に代わって人々のIDを形成したのが国家だ。人類の目覚ましい発展の裏側で、近代に生まれた制度や思想が、現在、人類の発展を阻害していることが指摘されている。主権、国民国家、科学技術、全体主義、無差別殺人、核兵器、人口爆発、民族対立、気候変動等々。そこで、本講義では、ナチのホロコースト、そしてナチに対抗したユダヤ人思想家の軌跡を軸に、日本の問題も取り上げて、人間とは何か、その精神性と悪性、自由と戒律の問題など、宗教固有の問いへ回帰して考える。</p>		
使用テキスト： 特になし		

【C2318】「宗教のすゝめ」～キリスト教からの問いかけ～	録画配信	6,000円
土曜配信 通年6回：5/27, 6/24, 7/22, 9/30, 10/28, 12/23		
本学教授 加藤 和哉		
<p>日本人の多くは自分は無宗教だと考えている。その一方で、危険な宗教カルトや怪しげな似非宗教・疑似宗教にはまり込んでしまう人も少なくない。また日本人の「宗教オンチ」は、グローバル化が進む世界と多様化が進む日本社会における無理解や不寛容につながっている。本講義では、キリスト教の中で2000年以上追求されてきた「宗教との正しい関わり方」についてお話ししたい。</p>		
使用テキスト： 特になし		

(Ⅲ) 自由ゼミナール

【F231】シェイクスピア講読	同時配信	無料
火曜 10:50-12:30 通年 12 回：5/23, 6/13, 6/27, 7/11, 7/25, 9/26, 10/10, 10/24, 11/14, 11/28, 12/12, 2024/1/16		
本学名誉教授 道家 弘一郎		
シーザーの暗殺に始まり、アントニーの追悼演説に動かされて、遂に内乱に至る。このような政治の動きは、遠い昔の事とも、外国の事とも思えない、迫真性がある。この作品を丹念に読むことによって、政治とは何か、民衆とは何か、を考えたい。		
使用テキスト： Shakespeare, <i>Julius Caesar</i> . コピーを配布する。		

【F232】アウグスティヌス『三位一体論』を学ぶ	対面授業	無料
水曜 13:30-15:10 通年 7 回：5/17, 6/21, 7/12, 10/18, 11/15, 12/13, 1/17		
東京都立大学名誉教授・元本学教授 加藤 信朗		
「父なる神（創造神）」・「子なる神（イエス・キリスト）」・「聖霊」の三つはそれぞれ「神」であるが、それらは「三つの神」ではなく、「一なる神」であることに「キリスト教」の成立する原点がある。そこに「三位一体なる神」への「信仰」として「キリスト教」が成立した。この教義についてさまざまな説が初期教父たちによってなされているが、今年度は聖アウグスティヌスが「回心」の過程を記した『告白録』に続き、「三位一体（Trinitas）」の「神秘」へと近づく道を説いた『三位一体論（ <i>De Trinitate</i> ）』を学ぶ。		
使用テキスト： アウグスティヌス著作集 第 28 巻『三位一体』泉治典訳（教文館・2004.3.25 初刊）（参考資料：Œuvres de Saint Augustin 15 <i>La Trinité</i> (Livres I-VII), I Le Mystère, Desclée de Brouwer, 1955.)		

【F233】キリスト教入門（カテキズム）	同時配信	無料
月曜 13:30-15:10 通年 8 回：5/29, 6/26, 7/31, 9/25, 10/30, 11/27, 12/18, 1/22		
元本学教授 山崎 渾子		
テキスト（下記）は問答形式（1～598 番）になっており、カトリック教会の教えについて学びます。聖フランシスコ・ザビエルによって、日本に伝えられたキリスト教は、歴史を通じて、日本文化と衝突・融合・触発が行われました。参加者の関心によってゼミ風に意見を・発表もあるとよいと思います。		
使用テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』カトリック中央協教会、2010 年、1200 円＋税（アマゾンの中古品などからも手に入りやすいです）		